２０１８年（平成３０年）１０月１６日　火曜日

デーリー東北　１３面　掲載

光星競り勝ち４強

近藤 千金勝ち越し打

第71回 秋季東北大会 高校野球

第3日

準々決勝

八学光星 000030000 3
黒石 010001000 2

（八）後藤－太山
（羽）篠田－本田
▽本塁打 鈴木（羽）
▽二塁打 近藤、後藤（八）
鈴木、日下部（羽）

【評】八学光星は1点を追う五回に武岡、近藤の連続適時打で3得点を挙げて勝ち越した。八回には相手に2死満塁とされるピンチを迎えたが、主戦後藤の力投で切り抜けた。羽黒は二回に鈴木のソロ本塁打で先制したものの、その後は打線がつながりを欠いた。

第71回秋季東北地区高校野球大会第3日は15日、秋田市こまちスタジアムときざきがけ八橋球場で、準々決勝4試合を行った。青森県勢は、第1代表の八学光星が羽黒（山形第2）に3－2で勝利し、準決勝に駒を進めた。16日は休養日のため、試合は行わない。第4日となる17日は、こまちスタジアムで準決勝2試合を実施する。八学光星は花巻東（岩手第2）と対戦する。（里村静）

【八学光星】打4 4 4 4 2 2 2 2 2 3 1 1 1 2 5 0 0 0 1 1
【羽黒】打3 3 4 2 2 2 2 1 1 4 3 1 3 3 2 2 5 0 0 0 1 0 0 2

	安打	点	振	球
八学光星	7	3	1	7
羽黒	3	2	0	3

【八学光星】投 大下－大滝－後藤
【羽黒】投 中北－日鈴－篠田－下山－伊藤－齋本－山佐

	回	打者	安打	振	球	失
後藤	9	35	7	10	2	2
篠田	9	37	7	0	4	3

▽準々決勝
秋田優英 000100000 1
古川 00010002X 3
（秋）西岡－山内
（古）千坂－高橋

▽二塁打 工藤、亀卦川（仙）大栄、猪股（花）西頭、古川端、佐藤、中森－武田
▽本塁打 小濃（仙）
▽三塁打 清川（花）

酒田南 0000000 0
盛岡大付 4 0 1 0 0 1 1x 7
（7回コールド）
（酒）伊藤、渡邉－榊原
（盛）阿部－島上
▽本塁打 小川（盛）
▽三塁打 峰（盛）▽二塁打 峰、平賀（盛）

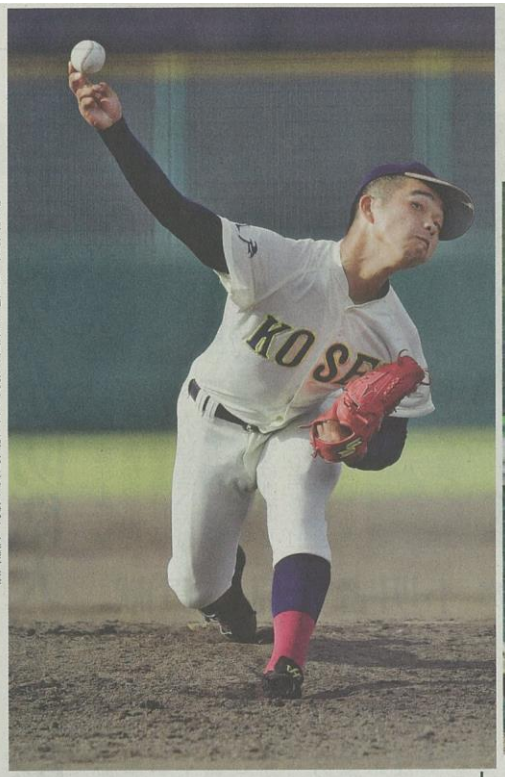
仙台育英 0 1 0 4 0 0 0 0 0
花巻東 0 0 0 0 2 0 0 0 0
1x 6 5
（延長10回）

きのうの結果

▽準々決勝
古川 3－1 秋田優英
盛岡大付 7－0 酒田南（7回コールド）
花巻東 6－5 仙台育英（延長10回）
八学光星 3－2 羽黒

あすの試合

▽準決勝
【こまちスタジアム】
古川－盛岡大付（10：00）
花巻東－八学光星（12：30）



【八学光星―羽黒】2失点で完投した八学光星の主戦、後藤丈海

【八学光星―羽黒】5回八学光星2死満塁、近藤遼一の中前2点適時打で3－1と勝ち越す ＝秋田市さきがけ八橋球場

後藤 三振で窮地脱す

○…1点をリードして迎えた八回2死満塁の場面。「意地を見せろ」とチームメートからの声援を背に受け、八学光星の主戦後藤丈海は直球で2ストライクまで追い込んだ。そして最後の6球目。自信のあるスライダーで三振に取った。

「気持ちで投げようと思っていた」と後藤。何度も走者を背負う苦しい試合だったが、「自分が緊張していたら、みんなの動きが硬くなってしまう」。マウンドでは笑顔を絶やさなかった。

東北大会の頂点まであと2勝。後藤は「スコアボードに0を並べるのが自分の仕事。絶対に勝つ」ときっぱり言い切った。

HERO ヒーロー

八学光星の4番、近藤遼一が好調だ。同点で迎えた五回2死満塁、1人でも走者がかえれば勝ち越しの場面。外角真っすぐの初球を迷わず振り抜いて、中前にはじき返す2点適時打で勝利に大きく貢献した。

今夏は青森大会で背番号を着けながら、甲子園でのメンバー入りはかなわなかった。「すごく悔しくて、とにかく打撃を強化した」。練習では、相手が打撃投手でもバッティングマシンでも、一球一球手を抜かず、力強くスイングすることを意識してきた。

五回の打席を「真っすぐは絶対に打ち返せると思っていた」と誇らしげに振り返った近藤。勝ち越しが懸かる勝負どころだったが、「気持ちで負けることなく臨めた。力を入れて取り組んだ打撃練習は確実に自信につながっている。

2回戦の専大北上戦でも2安打4打点と、主軸としての活躍が光る。持ち味の長打力に加え、試合の状況に応じて打撃を使い分けることも意識している。

準決勝の相手は花巻東。大逆転や延長勝ちで勝ち上がってきた、勢いのあるチームだ。近藤は「相手以上に粘り強く戦いたい」と力を込めた。（里村静）

デーリー東北新聞社提供